



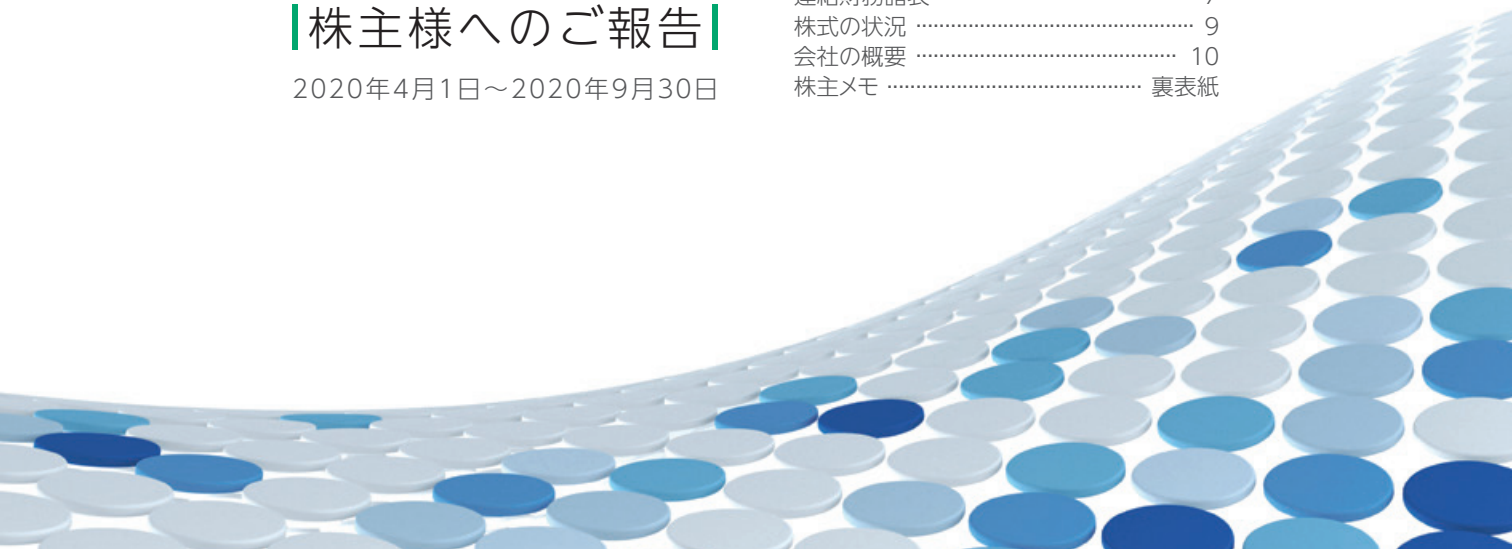
第74期 中間 株主通信

株主様へのご報告

2020年4月1日～2020年9月30日

contents

株主の皆様へ	1
セグメント別事業の概況	4
トピックス	5
丸文の豆知識 ～フォーサイトテクノってどんな会社?～	6
連結財務諸表	7
株式の状況	9
会社の概要	10
株主メモ	裏表紙



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第74期中間期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の報告書をお届けしますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

株主の皆様には、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
飯野 亨

Q1

当中間期の事業概況を聞かせてください。

A1

POINT

売上高は前年同期比1.0%減少し、
137,268百万円となりました。

当中間期におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の制限や停滞により、景

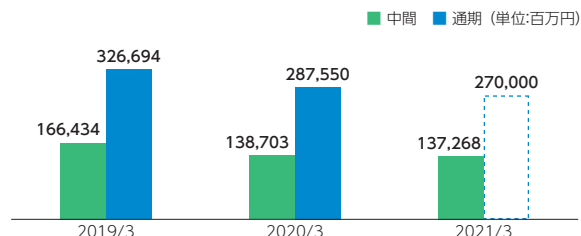
気が急速に悪化いたしました。緊急事態宣言の解除後、経済活動は次第に再開され、個人消費や生産活動の一部では持ち直しの動きが見られたものの、先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車向け需要や機械設備への投資が減少いたしました。一方で、テレワークやオンライン授業の浸透によってノートPCが好調を持続し、5Gスマートフォンやゲーム機、テレビなどの家電製品向けの需要も増加いたしました。

こうした状況のもと、当中間期における当社グルー

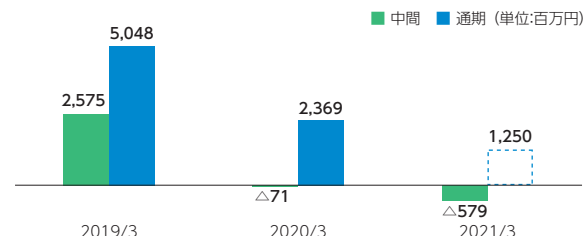
売上高

137,268百万円



営業損益

△579百万円



プの売上高は、前年同期比1.0%減の137,268百万円となりました。一方、利益面では、相対的に利益率の高い商品の売上が低調だったことや期中の円高進行で円ベースの売上総利益を押し下げたことにより、営業損益は579百万円の営業損失(前年同期は71百万円の営業損失)となりました。営業外損益では、為替変動による外貨建て債務の決済差益などにより為替差益867百万円を計上したものの、経常損益は前年同期比94.3%減の18百万円の経常利益、親会社株主に帰属する四半期純損益は64百万円の四半期純損失(前年同期は110百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

Q2

当期の見通しを教えてください。

A2

POINT

売上高は270,000百万円(6.1%減)、
経常利益は1,550百万円(22.7%減)
を予想しています。

売上面では、システム事業において産業機器や情報通信機器の増加が見込まれる一方、デバイス事業では産業

機器向けや自動車、OA機器向け半導体の減少が見込まれるため、当期の売上高は270,000百万円(前期比6.1%減)を予想しております。また利益面では、相対的に利益率の高い商品の売上が減少することに加え、上期の円高進行による為替変動の影響を踏まえ、営業利益1,250百万円(前期比47.2%減)、経常利益1,550百万円(前期比22.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益900百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失75百万円)を見込んでおります。

※2020年7月31日に公表しました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、当社ホームページにて2020年10月30日付で開示しました「第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

■ 当期の見通し

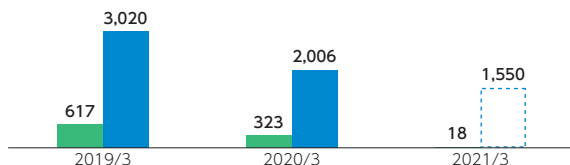
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前年実績 (2020年3月期)	287,550	2,369	2,006	△75
当期予想 (2021年3月期)	270,000	1,250	1,550	900
増減	△17,550	△1,119	△456	975

経常損益

18百万円

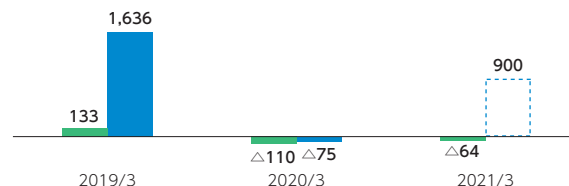
■ 中間 ■ 通期 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期純損益

△64百万円

■ 中間 ■ 通期 (単位:百万円)



Q3

配当金について教えてください。

A3

POINT

当中間期の配当金は8円とし、当期の年間配当金は16円を予定しています。

株主の皆様への利益配分につきましては、継続的な利益還元を基本としたうえで、業績に応じ積極的に利益還元を行うよう業績連動型の配当方式を採用し、配当性向を重視して決定しております。配当額は、連結配当性向30%以上を目安として決定していく方針です。

当中間期の配当につきましては、1株当たり8円といたしました。なお、期末配当につきましては1株当たり8円とする予定です。

Q4

中期経営計画への取組みについて教えてください。

A4

POINT

2021年度までを計画期間としている中期経営計画を策定し収益性と効率性の向上を目指しています。

◆デバイス事業

デバイス事業では、「事業ポートフォリオの進化」と「生産性の向上」を基本方針とし、事業収益の最大化に向けて「ラインカードの深耕」「成長市場での事業拡大」「海外ネットワークの充実」に取り組んでいます。

具体的には、既存の仕入先との協働関係を強化しつつ、新たな商権獲得に向け、通信関連部品や半導体素材などの新たな商材を開拓し、新規ビジネスの推進に取り組んでいます。またソリューション提案体制の更なる強化を図るため10月1日付で組織を再編しました。

あわせて、オシア社の空間伝送型ワイヤレス給電技術Cotaのライセンス提供サービスの開始や、アイオロス社のAI搭載の支援ロボットなど、成長市場に向けたユニークな技術を持つ商材の発掘を継続し、事業化を進めています。

ラインカードの深耕

- 新たな商権の獲得を推進
- ソリューション提案体制の強化

成長市場での事業拡大

- ライセンスビジネスの開始
- 医療や介護、IoTなどの取組みを強化

海外ネットワークの充実

- アジア・北米・欧州拠点での取組みを推進

◆システム事業

システム事業では、マーケットインとカスタマーインの「顧客志向」を基本方針とし、お客様に付加価値を提供する「製品・技術・サービスの差別化」に取り組んでいます。

航空宇宙機器では、人工衛星・ロケット搭載モジュール向けの高信頼性部品の国内No.1の供給会社を目指して商材拡充や販売活動を推進しています。産業機器では、ラベル印字の内容を書換え可能なレーザシステムや産業用PC等の新規商材の取扱いを開始しました。レーザ機器では、成長が期待される深紫外や紫外線LED関連の商品拡充と販売促進活動を進めています。情報通信機器では、試験設備のリモート操作や自動試験を実現する光回線ネットワーク機器を販売するなど、お客様の利用環境に合わせた提案活動を継続しています。医用機器では、画像診断装置を中心とした販売からアフターサービスまで、自社で一貫したサポートを提供することでシェア拡大を推進しています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に寄与する商材の取扱いも開始しています。

航空宇宙機器

- 高信頼性部品の拡販や新商材の拡充を推進
- 自動車向け商材の販売を強化

産業機器

- 新規仕入先や商材の発掘を積極的に推進
- Smart Factory・Smart Logistics市場向けの商材拡充

レーザ機器

- 産業機器向け・医療機器向けビジネスの推進・拡大
- 深紫外や紫外線LED関連の販促を強化

情報通信機器

- 5 G関連の製品・ソリューションを拡充
- リモート操作や自動試験を行うネットワーク機器を販売

医用機器

- PCR検査キットや空間除菌消臭装置などの商材を拡充

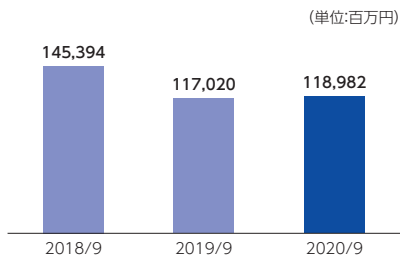


デバイス事業

売上高 **118,982**百万円 (1.7%増)

セグメント損失 **715**百万円 (ー)

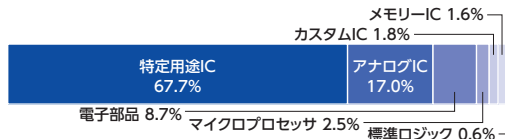
■ 売上高実績



■ 事業の動向

デバイス事業は、通信機器や民生機器向け半導体が好調に推移した結果、売上高は前年同期比1.7%増の118,982百万円となりました。一方、セグメント損益は、相対的に利益率の高い商品の売上が低調だったことや期中の円高進行により円ベースの売上総利益を押し下げたため、715百万円の損失(前年同期は403百万円のセグメント損失)となりました。

■ 品目別売上高



■ 主要取扱商品

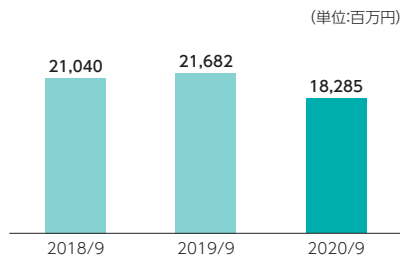
半導体 (アナログIC、標準ロジックIC、メモリーIC、マイクロプロセッサ、特定用途IC、カスタムIC)、電子部品 (水晶振動子、コネクタ、プリント基板、モジュール等)

システム事業

売上高 **18,285**百万円 (15.7%減)

セグメント利益 **139**百万円 (58.4%減)

■ 売上高実績



■ 事業の動向

システム事業は、電子部品の組立検査装置やLED光源の需要が増加したものの、人工衛星向け高信頼性部品や医用機器の売上が低調に推移した結果、売上高は前年同期比15.7%減の18,285百万円、セグメント利益は売上高の減少により前年同期比58.4%減の139百万円となりました。

■ 品目別売上高



■ 主要取扱商品

航空宇宙機器、産業機器、レーザ機器、情報通信機器、医用機器

Ossia社とのパートナーシップ契約締結 ～空間伝送型ワイヤレス給電技術のライセンスの取扱い開始～

当社は6月、革新的無線給電技術のIPベンダーである米国のOssia Inc. (以下、オシア社) と戦略的パートナーシップ契約を締結し、オシア社が特許を持つ空間伝送型ワイヤレス給電技術Cotaのライセンス提供サービスを開始しました。

IoTの急速な広がりにより、様々な分野で小型端末やICタグが大量に稼働しています。これらデバイスの多くは電力維持に電池交換やケーブル接続での充電が必要で、時間と手間を要するため、簡単かつ安全な電力供給の仕組みが求められていました。

オシア社のCotaは、ケーブル接続や充電パッドが不要で、無線技術を用いて同時に複数デバイスへ安全に電力供給することができる特許技術です。電力供給対象の識別、複数デバイスへの同時電力供給、一定空間内の離れたデバイスへの電力供給が可能であり、Cota Cloudプラットフォームを介して受信デバイスを管理します。また、人体やペットへの安全性を確保（米国にてFCC認証済）しています。

当社は、オシア社のパートナーとして日本企業へのライセンス提供サービスと技術サポートを提供いたします。また、空間伝送型ワイヤレス給電の普及を通して、スマートファクトリーやウェアラブル等IoT技術の更なる普及、発展に貢献してまいります。

*FCC：Federal Communications Commission/連邦通信委員会)



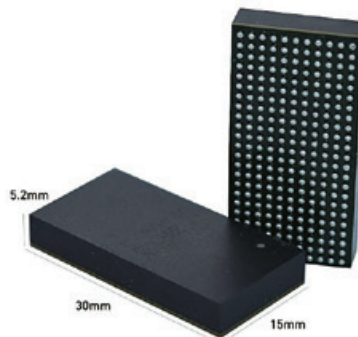
〈オシア社 空間伝送型ワイヤレス給電技術Cotaの利用イメージ〉

新組織・ゼロスカンパニーにてパワーデバイス・アナログICなどの販売を促進

当社は10月、新組織ゼロスカンパニーを発足しました。ゼロスカンパニーは、ギリシア神話に登場する熱意と競争心の神ゼロスの名前を由来とし、「お客様が市場競争を勝ち抜くための価値ある商品・情報・サービスを提供する」という想いが込められています。ゼロスカンパニーでは、アナログICを中心とした半導体製品をはじめ、回路保護、センサー、電力制御部品など個性的で競争力のある幅広い製品を取り扱っており、それらを組み合わせたソリューション提案で、お客様の様々な課題解決に尽力してまいります。

ゼロスカンパニーで取り扱う特徴的なメーカーのひとつ、米国Monolithic Power Systems Inc. (以下、MPS社) は、電源ICやモジュール製造に関する革新的な技術特許を持つパワーデバイスのリーディングカンパニーです。低電圧から1000Vの高電圧で大電流供給が可能なシングルチップのIC製造を可能にする高い技術を有し、また、「お客様からの注文がある場合は基本的に製造廃止はしない」という製品の製造ポリシーを掲げ、長期供給を希望されるお客様にも安心して使用いただけるメーカーです。

当社は、MPS社の高性能で超小型の電源ICやモジュールをはじめとするアナログデバイスを、従来販売してきた各種デバイスやソリューションと合わせて、車載、民生、産業、通信など様々な市場のお客様に提案してまいります。



〈MPS社 超小型100アンペア出力DC-DC/パワーモジュール"MPM3695-100"〉

丸文の豆知識

今回は丸文グループのシステム事業において重要な技術サポートを担う、「株式会社フォーサイトテクノ」を紹介します。

フォーサイトテクノってどんな会社？

東京都江東区を本拠地として、丸文株式会社の技術部と日本フォーサイト電子株式会社との合併により設立されたエンジニアリングサービスの専門会社です。

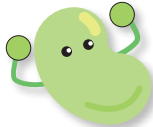
国内外の製造会社公認のエンジニアリングサービスパートナーとして、レーザ、真空、試験計測、通信、産業、情報、防衛の先端技術機器を利用されるお客様へカスタマイズ、メンテナンス、リペア、キャリブレーションから、テクニカルコンサルティングに至るサポートを提供します。

総合テクニカル
コンサルティング

多岐にわたる
技術分野

海外に向けた
アウトソーサー

国内外メーカー公認
サービスパートナー



技術者のみんながそれぞれ、レーザ光源や加工制御技術、真空技術、計測技術、データ通信技術などのスペシャリストなんだ。
お客様から信頼される仕事ぶりで研究や産業を支えているんだよ。

フォーサイトテクノの歴史

- 1975年 ● 日本フォーサイト電子株式会社として創業
- 1999年 ● 株式会社フォーサイトテクノ設立
- 2001年 ● 南砂事業所開設（東京都江東区）
- 2007年 ● 本社を江東区南砂へ移転
- 2016年 ● 中部サービスセンター開設

取得済みの主な規格

- ISO9001:2015認証 登録番号JQ1047G
- ISO14001:2015認証 登録番号JE0914D
- ISO/IEC 17025:2017 認定番号74317:L19-200-R1
- JIS Q 9100:2106認証 登録番号JQA-AS0243

JIS Q 9100は、世界の航空宇宙・防衛産業で認められている品質管理の規格だよ。
厳しい審査に合格した会社の証だから
たくさんのお客様とのビジネスチャンスが増えるんだね。



プロフィール

社 名 株式会社フォーサイトテクノ
資 本 金 7,750万円
代 表 者 代表取締役社長 加藤 正日出
従業員数 101名(2020年4月1日現在)
主要顧客 国立・私立大学、国公立研究所、
主要民間企業
所 在 地 東京都江東区南砂3丁目3番4号
同興ビル



〈代表取締役社長 加藤正日出〉



〈レーザ出荷前検査〉



〈ABE校正作業〉



〈フォーサイトテクノ 本社〉

● 連結貸借対照表(要旨)

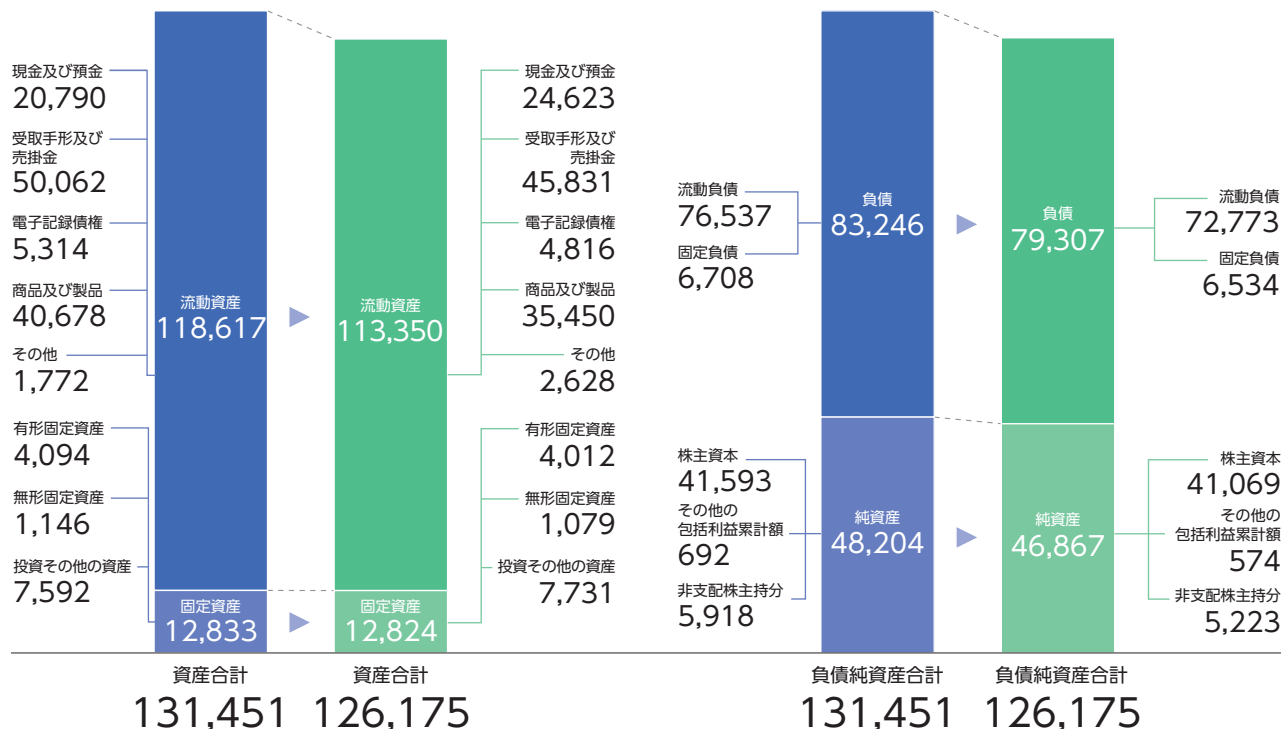
(単位:百万円)

前期末(2020年3月31日)

当中間期末(2020年9月30日)

前期末(2020年3月31日)

当中間期末(2020年9月30日)



■ 資産について

資産合計は前期末に比べ5,276百万円減少し、126,175百万円となりました。これは主に「現金及び預金」が増加した一方で「商品及び製品」や「受取手形及び売掛金」がそれぞれ減少したことにより、流動資産が5,266百万円減少したことによるものです。

■ 負債について

負債合計は前期末に比べ3,938百万円減少し、79,307百万円となりました。これは主に「短期借入金」や「退職給付に係る負債」がそれぞれ減少したことによるものです。

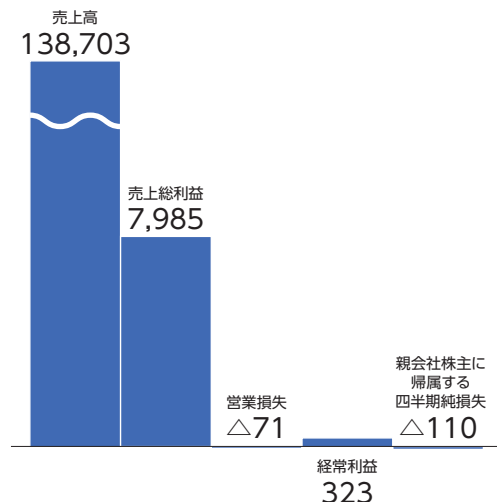
■ 純資産について

純資産合計は、前期末に比べ1,337百万円減少し、46,867百万円となりました。これは主に「非支配株主持分」や「利益剰余金」がそれぞれ減少したことによるものです。

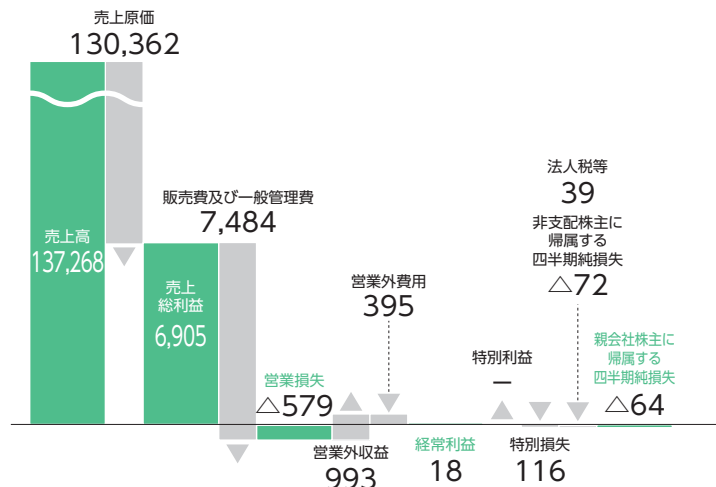
● 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

前中間期(2019年4月1日～2019年9月30日)

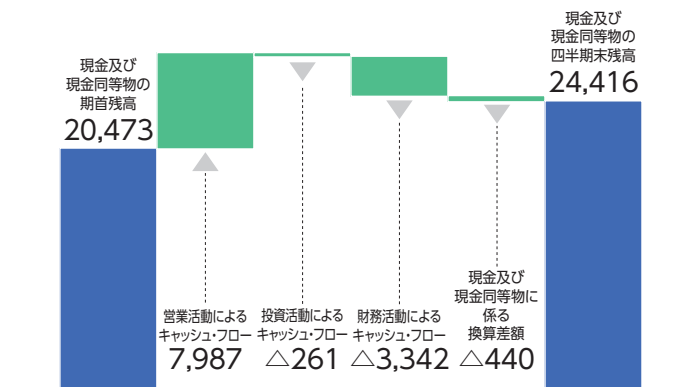


当中間期(2020年4月1日～2020年9月30日)



● 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

当中間期(2020年4月1日～2020年9月30日)



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は7,987百万円(前年同期は12,664百万円の収入)となりました。これは主にたな卸資産や売上債権の減少があったことによるものです。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は261百万円(前年同期は369百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は3,342百万円(前年同期は4,314百万円の支出)となりました。これは主に短期借入金



株式の状況

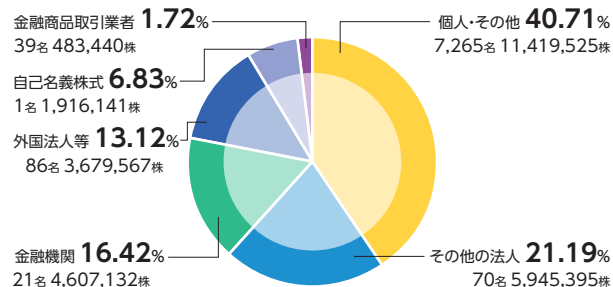
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	28,051,200株
1単元の株式数	100株
株主数	7,482名

大株主

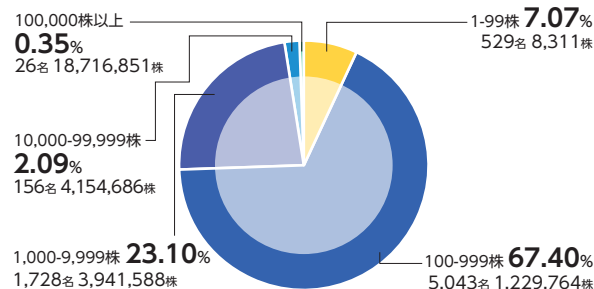
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ARROW ELECTRONICS, INC. 590000	2,350	8.38
一般財団法人丸文財団	2,304	8.21
堀越 毅一	2,017	7.19
丸文株式会社 (自己名義株式)	1,916	6.83
株式会社千葉パブリックゴルフコース	1,399	4.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,358	4.84
合同会社堀越	800	2.85
堀越 裕史	766	2.73
堀越 浩司	754	2.69
堀越 百子	602	2.15

株式の分布状況

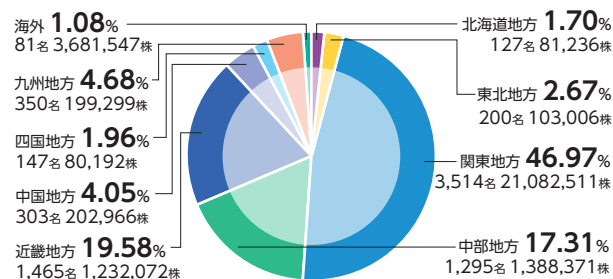
所有者別 株式数比率



所有株数別 株主数比率



地域別 株主数比率





■ 会社概要

会社名	丸文株式会社 (英文名称 MARUBUN CORPORATION)
所在地	〒103-8577 東京都中央区日本橋大伝馬町8-1
設立	1947年（昭和22年）
創業	1844年（弘化元年）
資本金	6,214,500,000円
従業員（単体）	773名（2020年4月1日現在）
主な事業内容	半導体・電子部品、電子応用機器を国内外で 販売するエレクトロニクス商社

■ 役員

代表取締役社長	飯野 亨
代表取締役副社長	岩元 一明
常務取締役	藤野 聡
取締役	今村 浩司
取締役	堀越 裕史
社外取締役 監査等委員	柿沼 幸二
社外取締役 監査等委員	茂木義三郎
社外取締役 監査等委員	渡邊 泰彦

■ 国内拠点

本社
中部支社
関西支社
大宮支店
立川支店
郡山オフィス
宇都宮オフィス
水戸オフィス
長岡オフィス
北陸オフィス
長野オフィス
松本オフィス
三島オフィス
静岡オフィス
京都オフィス
広島オフィス
九州オフィス
南砂テクニカルセンター
東日本物流センター
南砂物流センター

■ 主なグループ会社



■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月に開催
基準日 定時株主総会、期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.marubun.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じた時には、日
本経済新聞に公告いたします。)

株主名簿管理人 (特別口座管理機関)
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

【ご注意】

- (1) 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いたします。

IR情報メール配信登録のご案内

当社の情報を迅速にお届けするため、IRに関するプレスリリースやコンテンツの更新を行った際に電子メールにてお知らせいたします。

ご登録は、当社ホームページにて承っております。

<https://www.marubun.co.jp/ir/irreg1.html>

Ⅰ単元未満株式保有の株主様へ

単元未満株式（100株未満の株式）の買取りにかかる手数料を無料としています。是非ご利用ください。

単元未満株式の 買取制度	市場で売却できない単元未満の株式を 当社が市場価格で買取りする制度です。
-----------------	---

買取制度の例(150株ご所有の場合)



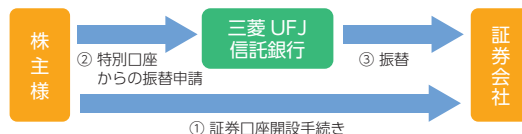
お問合せ先	口座を開設されている証券会社等 ※特別口座の場合は、三菱UFJ信託銀行
-------	--

Ⅱ証券会社にお預けではない株式について

ご所有株式は、「特別口座」で管理されています。特別口座では株式を市場で売買できないなどの制約がありますので、証券会社の口座へ移されることをお奨めいたします。

**「特別口座」から証券会社の口座への振替方法に
つきましては、以下の手順にて、振替が可能です。**

- ① 証券会社に株主様ご名義の口座を開設
- ② 三菱UFJ信託銀行に振替申請
(電話 0120-232-711 〈通話料無料〉)
- ③ 三菱UFJ信託銀行が振替処理



なお、詳しいお手続き等は、左記の特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。